

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※お引き渡し日・お客様・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名	機能フレーム KAKINE		
保証期間	お引き渡し日から1年間	お引き渡し日	年 月 日
お客様	おなまえ	取扱店名	TEL () -
	おところ		
	おでんわ		

お客様へ

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないように大切に保管してください。
- お客様にご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- 部品保有年数は製造中止後5年です。

無料修理規定(保証規定)

- 「取扱説明書」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お引き渡し後の移設などに起因する故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・凍結・その他の天災地変、公害やガス害(硫化水素ガス)、塩害、異常電圧による故障および損傷。
 - 害虫や小動物による故障および損傷。
 - 指定以外の電源(電圧・周波数)の使用。
 - デスクとしての用途以外に使用した場合の故障および損傷。
 - 日常のお手入れ箇所。
 - 組立上の不注意、過失による場合。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、取扱店、お引き渡し日のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 他社製機器に起因する故障および損傷。
 - 経年変化または使用に伴う摩耗、さび、カビ、変質、変色そのほか類似の事由による場合。
 - 傷などの外観の不具合で、お引き渡し時に申し出のなかったもの。
 - 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する故障および損傷。
 - 適切な使用、維持管理がなされなかったことに起因する故障および損傷。
 - 屋外使用による故障および損傷。
 - 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
 - お買い上げ時に実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
 - 保証期間経過後に申し出のあったもの、または保証規定該当事項の発生後、すみやかに申し出のなかったもの。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。したがって、本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店にお問い合わせください。



組立・取扱説明書

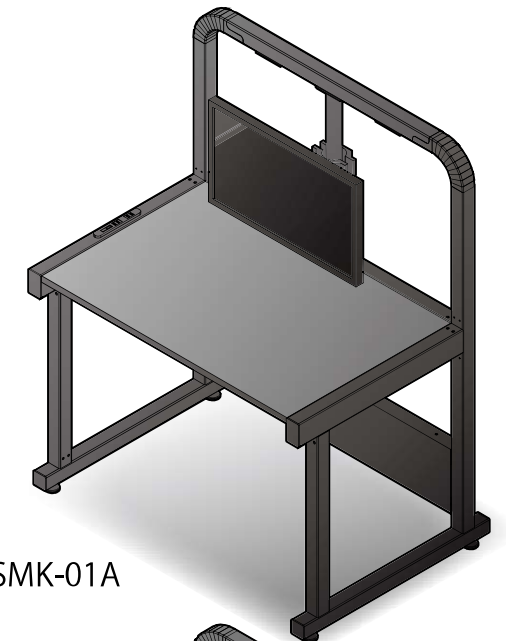
機能フレーム KAKINE スマートタイプ

もくじ

組立前に必ずお読みください	1
安全上のご注意	1
使用上のご注意	2
組立方法のご確認	2
組立のポイント	3
組立に必要な準備物	3
同梱物/各部のなまえ	4
フレームの組立方法	5
天板の取付、フレームの固定	8
ディスプレイの取付け	9
OAタップボックスカバーの取付	11
ご使用前の確認	12
よくあるご質問	12
お手入れの方法	13
仕様	14

■保証書

組立2人以上



SMK-01A



SMK-02B

- このたびは、機能フレームKAKINEをお求めいただき、誠にありがとうございます。
- 長く、安全にお使いいただくために、組立時、ご使用時には必ずこの説明書をお読みください。
- この説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

●商品に関するお問い合わせ

商品に関しては当社へメールにてお問い合わせください info@kakine-frame.com



株式会社伊藤工業

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪651-3

☎055-943-5311 ☎055-923-5322

🌐 <https://kakine-frame.com> ✉ info@kakine-frame.com



組立前に必ずお読みください

- 組立前に、部品の不足・破損がないか、必ずご確認ください。
- ※商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・破損していた場合は、組立を行わず弊社へお問い合わせください。
- 組立はこの「説明書」に記載の順序に従い、正しく組立ててください。誤った組立は破損やけがの原因になります。
- 本製品は機能フレームKAKINEの専用部材です。他の製品との併用はできません。

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

- ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示しています。
- ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 🚫

してはいけない「禁止」内容です。
- ❗

必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

- 🚫

本製品は電気機器を使用しているため、水をかけない
●感電や故障の原因となります。
- 🚫

濡れた手でコンセントなどの電気器具や配線に触らない
●感電の恐れがあります。
- 🚫

耐荷重を超えて物を載せない
●トップフレームの耐荷重は20kg、専用天板の耐荷重は50kgです。耐荷重を超えると破損の恐れがあります。
- 🚫

フレームや天板にぶら下らない
●破損やケガにつながります。
- 🚫

踏み台にするなどフレームトップや天板に登ったりしない
●転倒によるケガや破損など、大きな事故につながる恐れがあります。
- ❗

パソコン、OAタップ、ディスプレイなど電気機器類を使用の際は当該機器の取扱説明書に従う
●感電や故障の原因となります。
- 🚫

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使用しない
●発熱により、火災の原因となります。

⚠ 注意

- 🚫

傾斜した場所や床面が柔らかい場所など不安定な場所には設置しない
●物が落下して破損したり、転倒してケガをする恐れがあります。
- 🚫

無理やり引きずったりしない
●柔らかく、傷みやすい床面の場合、傷つけてしまう恐れがあります。
- 🚫

天板には不安定なものは載せない
●落下して破損する原因となります。
- 🚫

天板端部に荷重をかけない
●転倒によるケガや物損事故の原因となります。
- 🚫

積載荷重制限以下であっても一か所に集中して荷重をかけない
●転倒によるケガや物損事故の原因となります。
- 🚫

がたつきやねじのゆるみがある場合、そのまま使用しない
●事故やけがをする恐れがあります。
- 🚫

本製品を押したり、物をぶつけたりしない
●破損・故障の原因となります。

使用上のご注意

⚠ 注意

- 🚫

化粧品や洗剤をフレーム、天板に付着させたま放置しない
●変色・変形・破損の原因となります。付着したときはすぐに完全にふき取ってください。
- 🚫

有機溶剤（ガソリン、アルコール、シンナー等）や薬品を付着させない
●変色・変形・破損の原因となります。付着したときはすぐに完全にふき取ってください。
- 🚫

高温・多湿、直射日光の当たる場所で使用しない
●変色・変形・破損の原因となります。
- ❗

長期間使用しないときは、コンセントプラグを抜いておく
●不用意な操作で思わぬ事故が起きる原因となります。
- ❗

コンセントプラグにほこりがたまらないように定期的に清掃をする
●漏電火災の原因となります。
- ❗

コンセントプラグはコンセントに根元まで完全に差し込む
●漏電・火災・感電の恐れがあります。
- ❗

コンセントプラグを抜くときは、プラグを持って抜く
●電源ケーブルが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 🚫

屋外では使用しない
●屋外で使用しますと、故障、さび、反り、変色などの原因となります。
- 🚫

天板に水分が付着したまま放置しない
●変色、変形、反り、割れなどの原因となります。

組立方法のご確認

本製品の「組立方法」については、下記の手順にて動画で組立方が確認できます。

①下記にアクセスします

<https://kakine-frame.com/torisetsumovie01>

②組立動画一覧が表示されたら、確認したい手順のコンテンツを選択し、動画を確認してください



組立のポイント

●組立てる前に

■組立場所を確保し、順番通りに組立てる

- ・組立場所（十分広い平らな場所）を確保してください。
- ・取り回しが十分できるよう壁や家具などに当たらないような場所で組立ててください。
- ・床や壁、商品を傷つけないよう、商品の下に厚手の布や梱包のダンボール等を敷いてください。
- ・組立の順番を守らないと、組立てができなかったり、商品破損の原因になります。

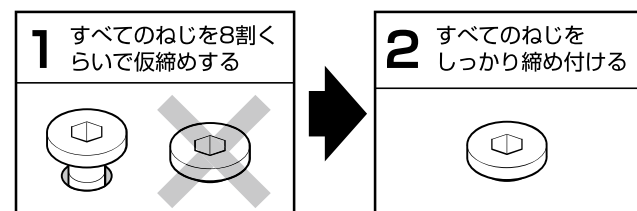
■部品を確認する

- ・ねじなどの部品、フレームの形状を説明書の同梱物一覧で確認してください。
- ・部品が不足している場合は、組立をせず弊社商品に関するお問い合わせにご連絡ください。
- ・部品を無くさないようにまとめてください。
- ・部品は取り出すときに使う分だけ取り出してください。

●ねじの締め方

■ねじは最初からきつく締めない

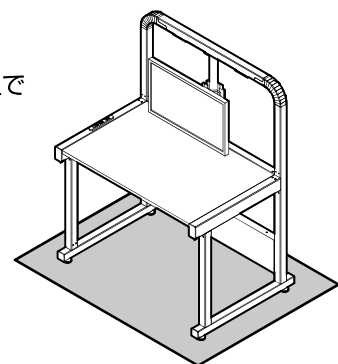
最初からねじをきつく締めると他のねじ穴の位置が合わず組立ができない場合があります。
また、全体のゆがみの原因になりますのでご注意ください。



●床面保護をして組立てる

■床面保護のため、敷物を図のように本体の下に敷く

- ・厚手の布
 - ・梱包用ダンボールなど
- ※重量がありますので、2人以上で組立ててください。



組立てに必要な準備物

●お客様でご用意いただくもの

■保護用の敷き布等

- ・金属面が床面に接するため、床面のキズ・破損などに十分注意してください。

■OAタップ（必要に応じて）

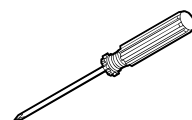
- ・OAタップボックス内に置く場合には、幅42mm以下のサイズのものを選定してください。
- ・42mm以上のOAタップは、OAタップボックス内に設置ができませんのでご注意ください。

■ディスプレイ（必要に応じて）

- ・2画面を取付ける場合は、23.8インチ以下（幅560mm以下）のものを選定してください。
- ・23.8インチ以上のディスプレイは、横に並べて配置することができません。
- ・VESA規格（75×75mmまたは100×100mm）に対応したものでないと取付けができません。

■プラスドライバー2番

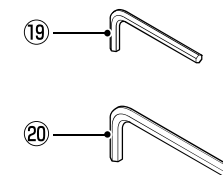
- ・ディスプレイをアームに取付ける際に、必要になります。
- ・ディスプレイをアームに取付けるねじは、アームに同梱されています。



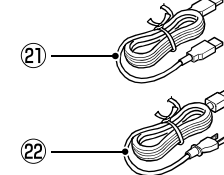
同梱物/各部のなまえ

No	名称	員数
1	トップフレーム	1
2	ジョイントプレート	2
3	サイドフレーム A- (左)	1
4	サイドフレーム A- (右)	1
5	バックフレーム	1
6	サイドフレーム B- (左)	1
7	サイドフレーム B- (右)	1
8	レッグフレーム	2
9	ベースフレーム	2
10	アジャスター	4
11	OAタップボックス本体	1
12	OAタップボックスカバー	1
13	天板	1
14	ディスプレイバー	1or2
15	ディスプレイアーム	1or2
16	ねじ (M6)	16
17	ねじ (M5)	40
18	ねじ (M6×8) ワッシャ付	6
19	六角レンチ (3mm)	1
20	六角レンチ (5mm) 天板取付用	1
21	映像ケーブル (HDMI)	1or2
22	電源延長ケーブル	1or2

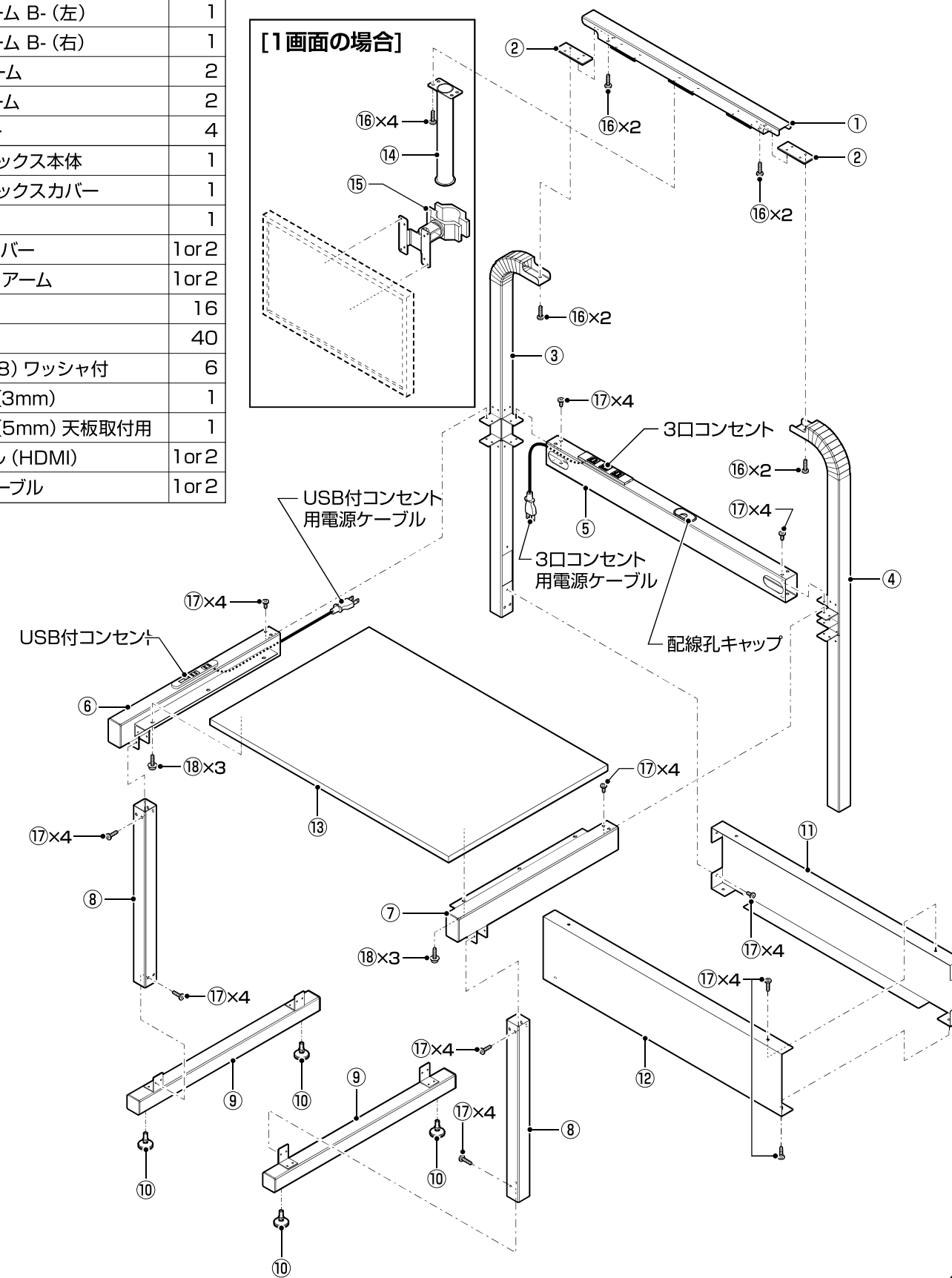
[工具]



[ケーブル]



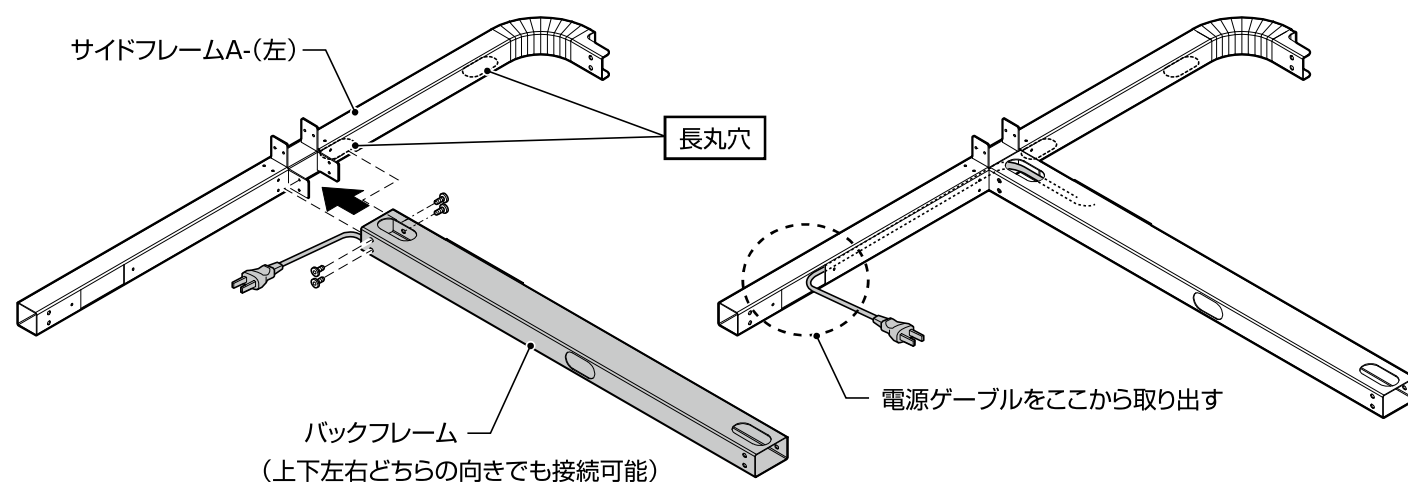
[1画面の場合]



フレームの組立方法

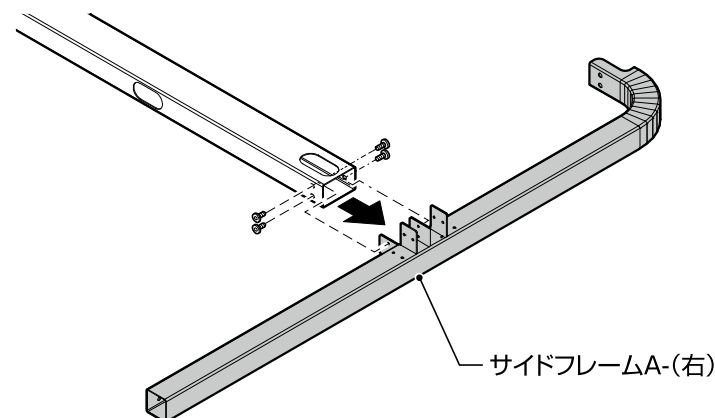
1 サイドフレームA-(左)とバックフレームの取付

1. サイドフレームA-(左)の背面（長丸穴が開いているほう）を下にしておき、バックフレームを接続します。
2. バックフレームを接続するために、3口コンセントの電源ケーブルをサイドフレームA-(左)の中を通し、下の四角い開口部分から出しておきます。
※バックフレームは上下左右どちらの向きでも接続できます。3口コンセントの位置によって選択してください。
3. サイドフレームA-(左)と、バックフレームをM5ねじで4か所、仮締めします。



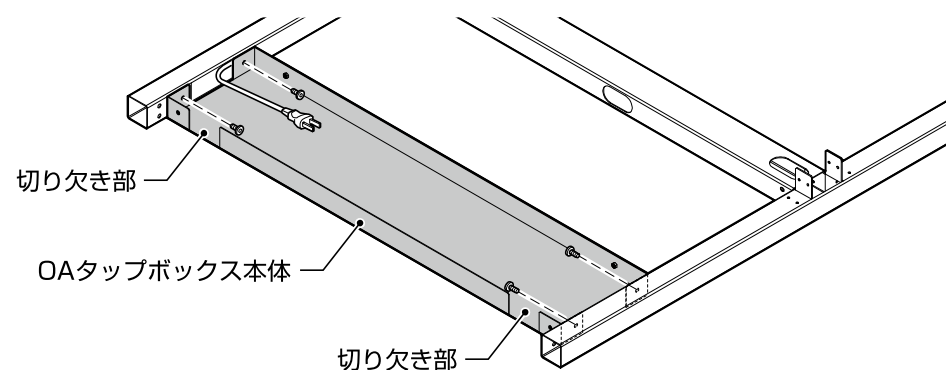
2 サイドフレームA-(右)とバックフレームの取付

1. バックフレームの右側に、サイドフレームA-(右)を接続します。
2. サイドフレームA-(右)と、バックフレームをM5ねじで4か所、仮締めします。



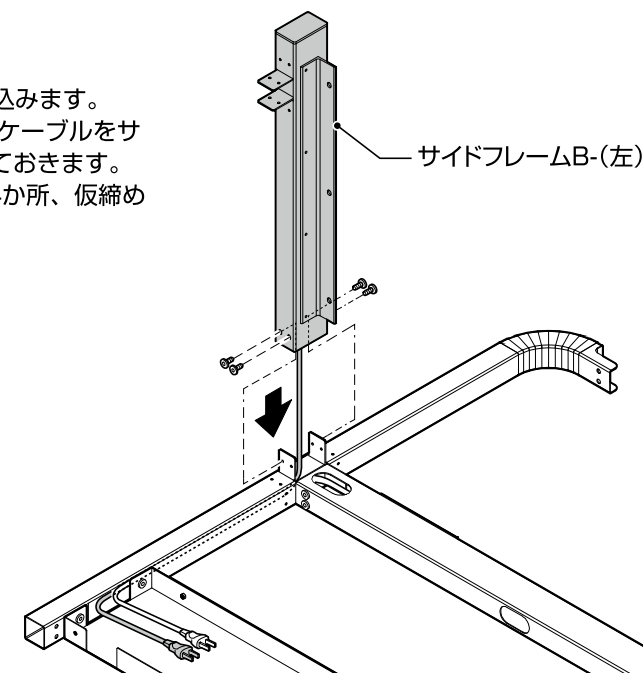
3 OAタップボックス本体の取付

1. サイドフレームA-(左)およびサイドフレームA-(右)の間に、OAタップボックス本体を取付けます。
2. OAタップボックス本体は、切り欠き部が下側になるように取付けます。
※サイドフレームA-(左)から出ている電源ケーブルの挟み込みに注意してください。
3. サイドフレームA-(左)およびサイドフレームA-(右)の側面にM5ねじで4か所、仮締めします。



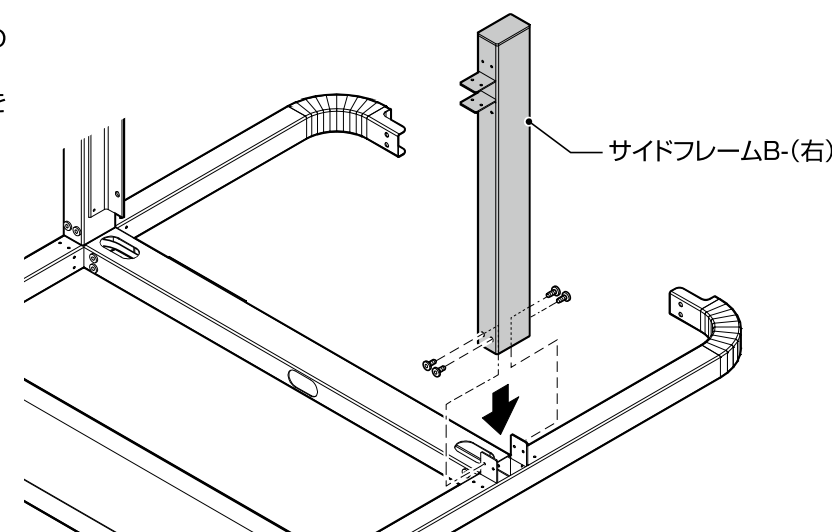
4 サイドフレームB-(左)の取付

1. サイドフレームB-(左)を、サイドフレームA-(左)の上から差し込みます。
2. サイドフレームB-(左)に接続してあるUSB付コンセントの電源ケーブルをサイドフレームA-(左)の中を通し、下の四角い開口部分から出しておきます。
3. サイドフレームB-(左)と、サイドフレームA-(左)をM5ねじで4か所、仮締めします。



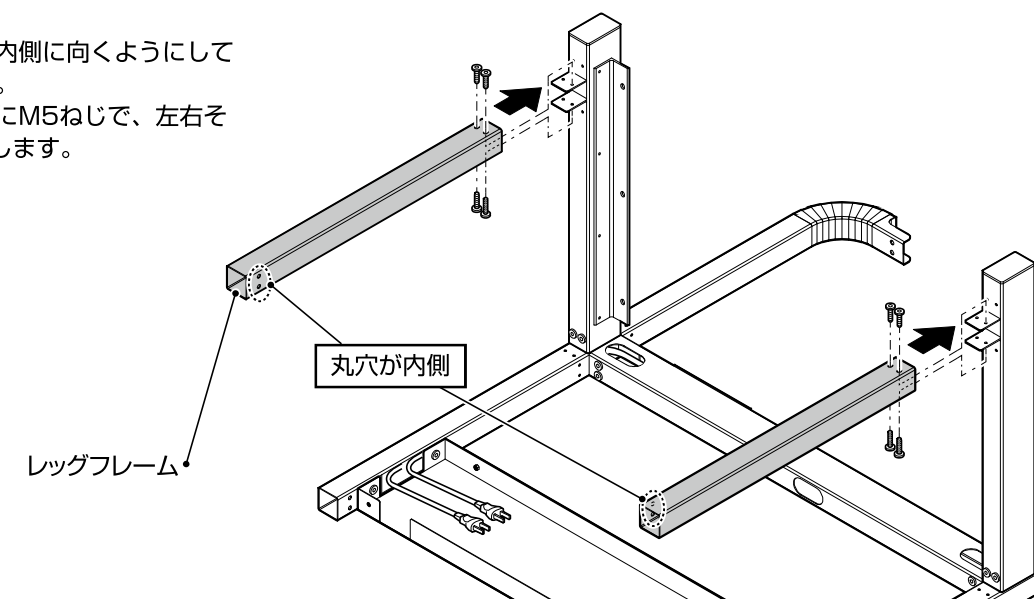
5 サイドフレームB-(右)の取付

1. サイドフレームB-(右)を、サイドフレームA-(右)の上から差し込みます。
2. サイドフレームB-(右)と、サイドフレームA-(右)をM5ねじで4か所、仮締めします。



6 レッグフレームの取付

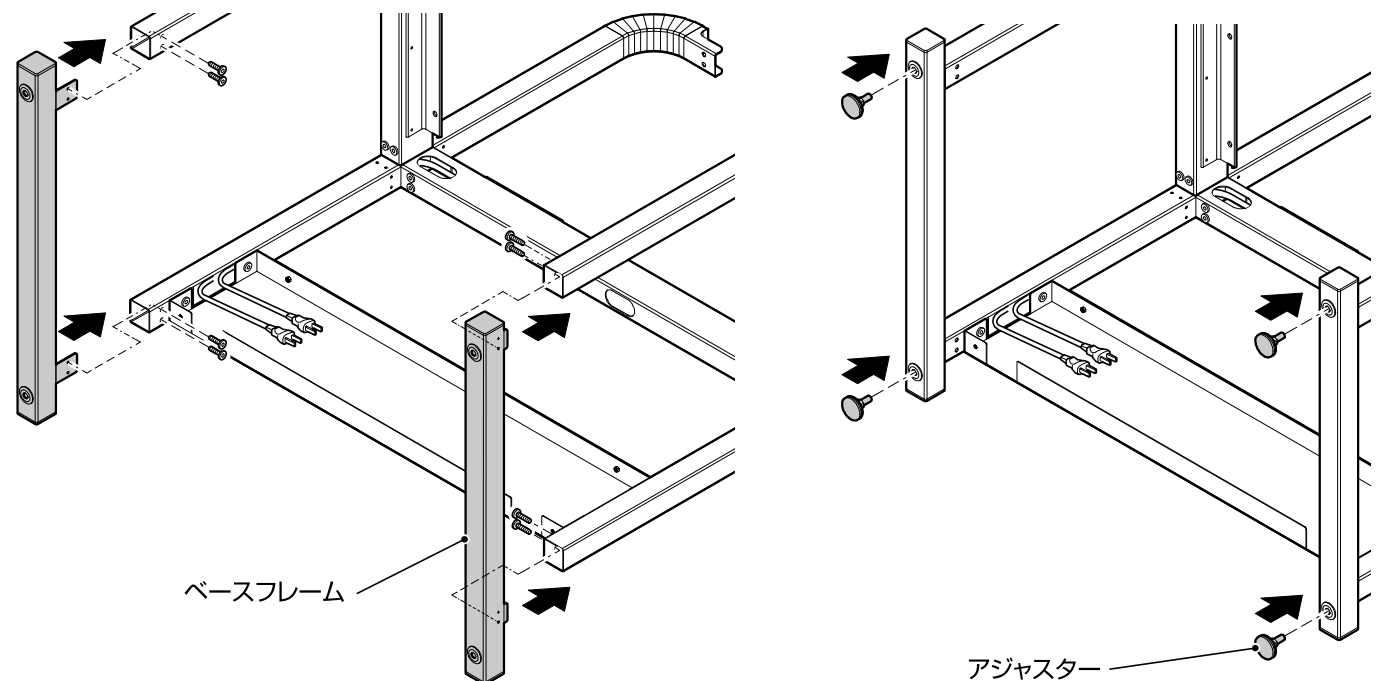
1. 2本のレッグフレームをそれぞれサイドフレームに取付けます。
※左右共通ですが、丸穴が内側に向くようにして注意して取付けてください。
2. それぞれのサイドフレームにM5ねじで、左右それぞれ4か所ずつ、仮締めします。



フレームの組立方法

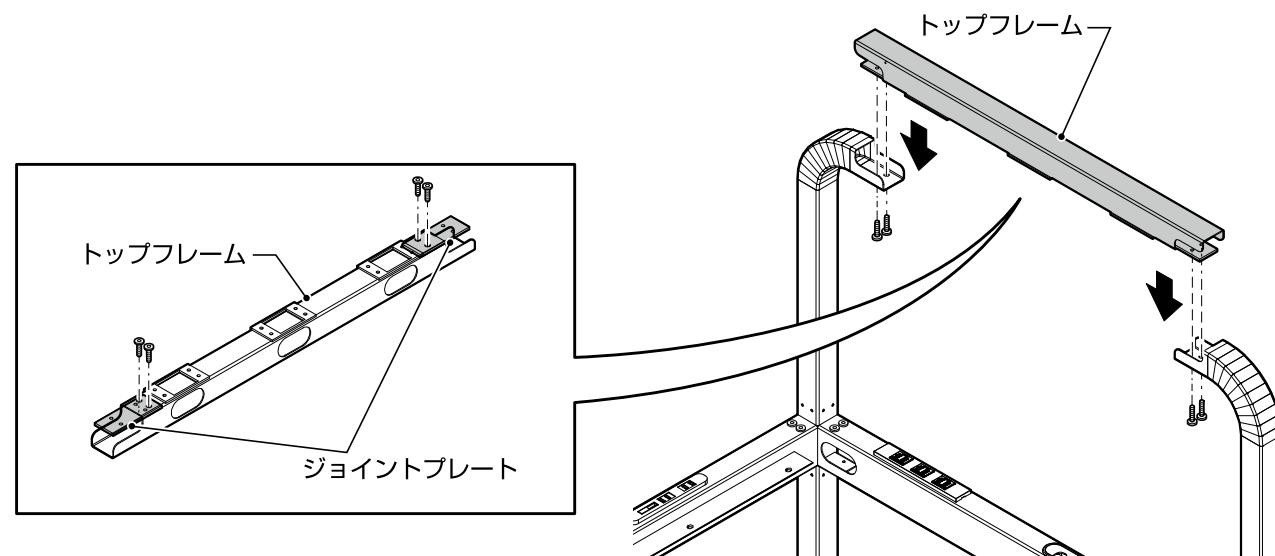
7 ベースフレームの取付

1. ベースフレームを、左右のサイドフレームの下から差し込みます。
2. ベースフレームと、サイドフレームをM5ねじで左右4か所ずつ、仮締めします。
3. アジャスターをベースフレームの下にねじ込んで取付けます。



8 トップフレームの取付

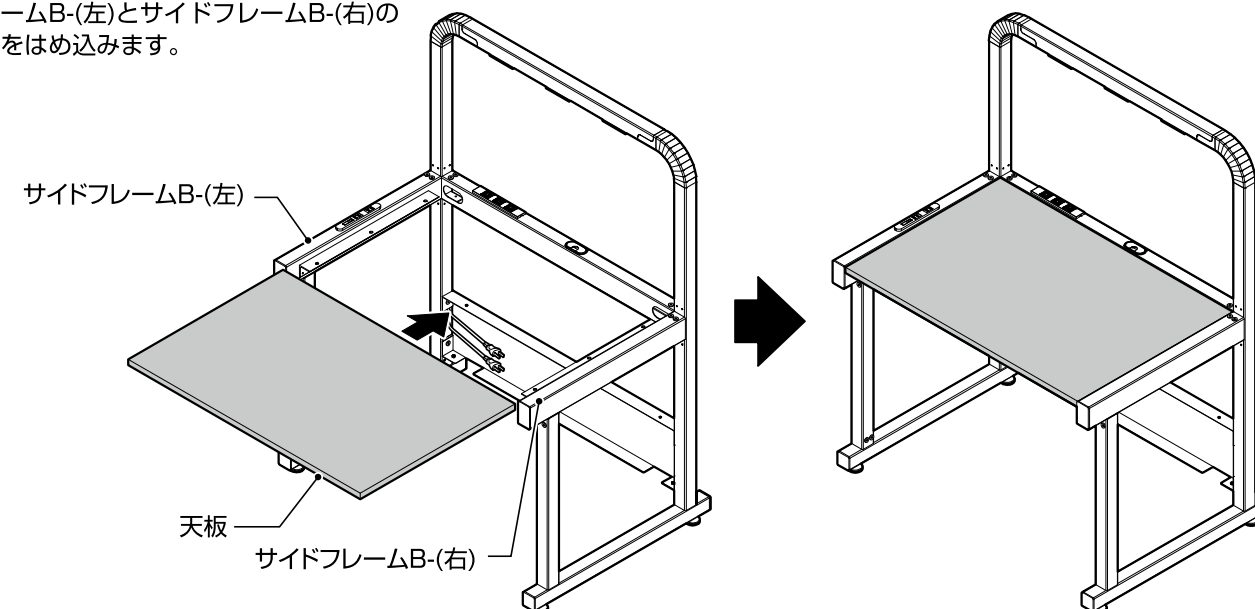
1. トップフレームには、ジョイントプレートにM6ねじで4か所、仮締めしてあります。
2. フレームを起こして自立させ、ジョイントプレートが取付けてあるトップフレームをフレーム上部から落とし込むようにはめ込みます。
3. トップフレームをそれぞれサイドフレームにM6ねじで4か所、仮締めします。
※トップフレームとサイドフレームがうまく接続できない場合は、ジョイントプレートを少し緩めてください。



天板の取付、フレームの固定

1 完成したフレームに天板をはめ込む

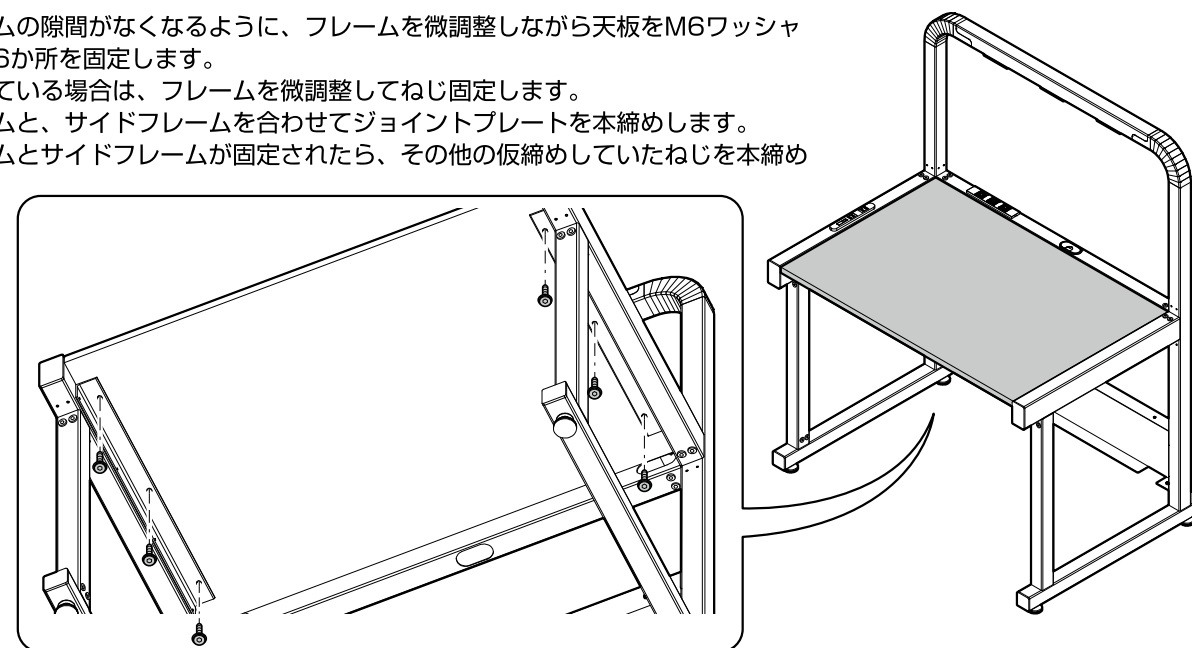
1. サイドフレームB-(左)とサイドフレームB-(右)の間に、天板をはめ込みます。



2 天板の取付、フレームの固定

1. 天板とフレームの隙間がなくなるように、フレームを微調整しながら天板をM6ワッシャ付ねじにて、6か所を固定します。
2. 穴位置がずれている場合は、フレームを微調整してねじ固定します。
3. トップフレームと、サイドフレームを合わせてジョイントプレートを本締めします。
4. トップフレームとサイドフレームが固定されたら、その他の仮締めしていたねじを本締めします。

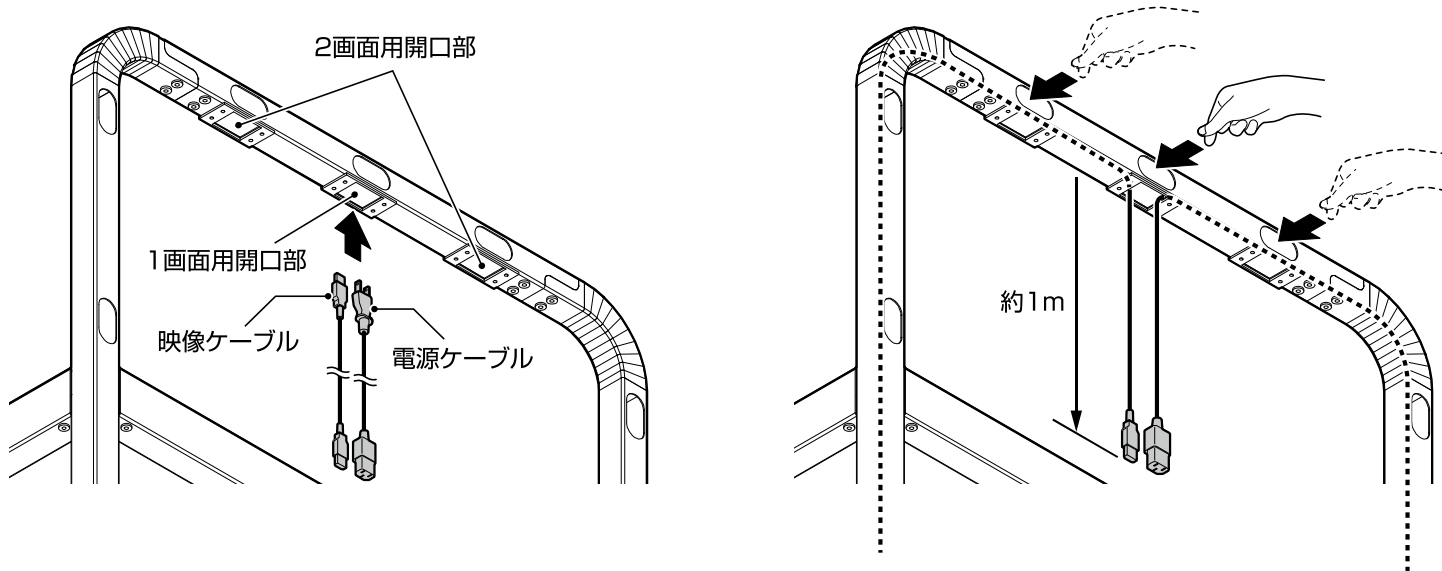
M6×6個
ワッシャ付
六角レンチ
(5mm)



ディスプレイの取付

1 ディスプレイの配線

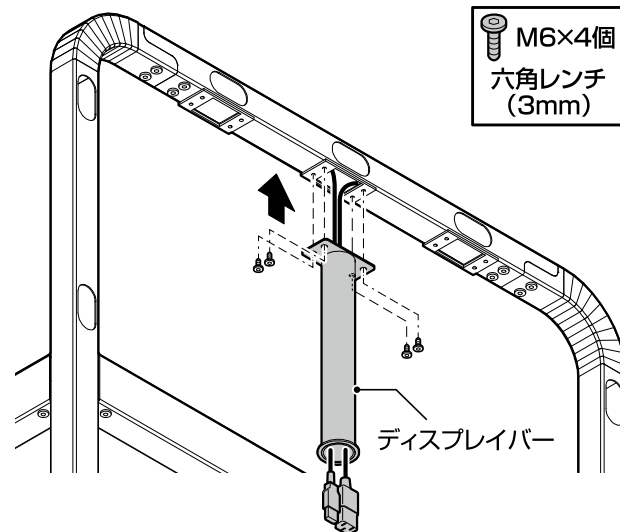
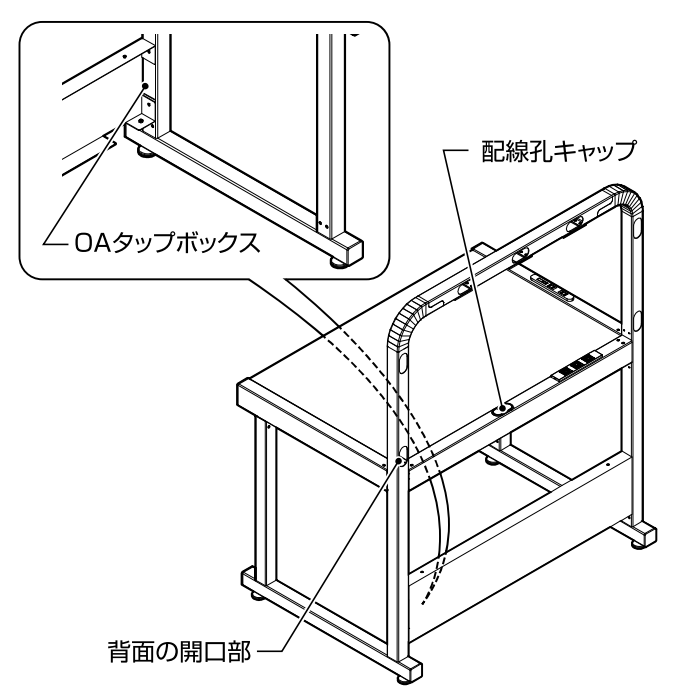
1. トップフレームにおいて、ディスプレイを接続したい位置の角穴に、トップフレームの下側から電源ケーブルおよび映像ケーブル（HDMI）を挿入し、左右どちらかに配線を通します。
※1画面であれば中央、2画面であれば左右の穴を使用。
2. ディスプレイに付属している電源ケーブルを、延長ケーブルに接続してから通します。
※ディスプレイの電源ケーブルの長さが十分であれば、延長ケーブルは不要です。
3. フレームの中を配線する際には、背面の長穴に指を入れて配線を通します。
※長穴側面で指などを切らないように十分注意して作業してください。
4. 配線は、トップフレームから約1m程度の長さを出しておきます。
※ディスプレイバーを介してディスプレイにケーブルを接続するためです。



2 ディスプレイバーの取付

1. 電源ケーブルは、OAタップボックス本体側へ出しておきます。
2. 使用するパソコン（ノート型、デスクトップ型）に応じて、映像ケーブルは取り回ししやすい位置に出します。
※例えば、ノート型であればバックフレームにある配線孔キャップや背面の開口部から、デスクトップ型であればOAタップボックスから映像ケーブルを出しておく使いやすいです。
※ディスプレイバーを取付ける際は、電源ケーブルや映像ケーブルをフレームに挟み込まないようにご注意ください。

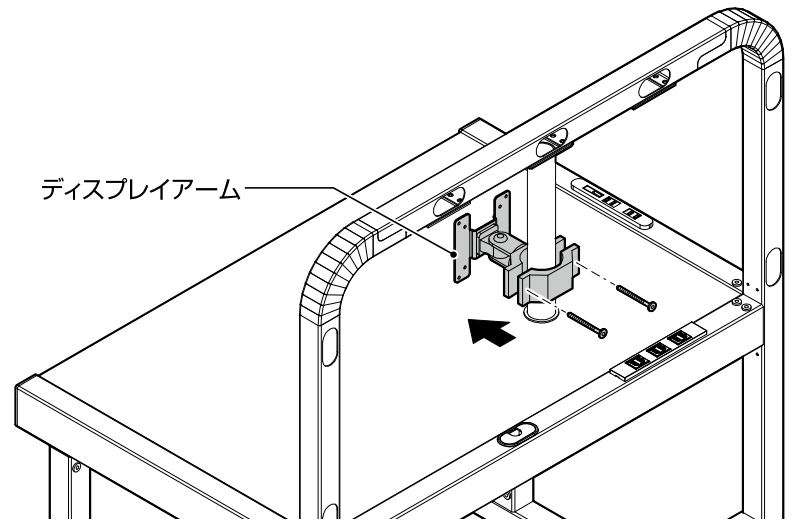
■ 映像ケーブル出し位置の例



ディスプレイの取付

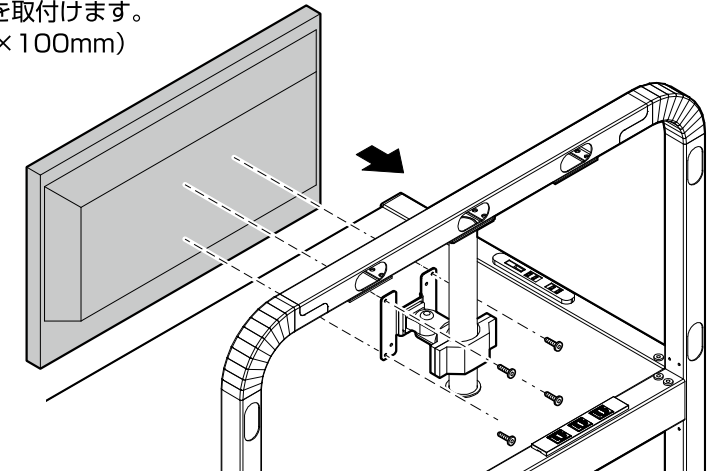
3 ディスプレイアームの取付

1. ディスプレイアームをディスプレイバーに取付けます。
※取付け用の工具（六角レンチ）は、ディスプレイアームに同梱されています。
※取付け方やその他注意事項についてはディスプレイアームの取扱説明書をご参照ください。



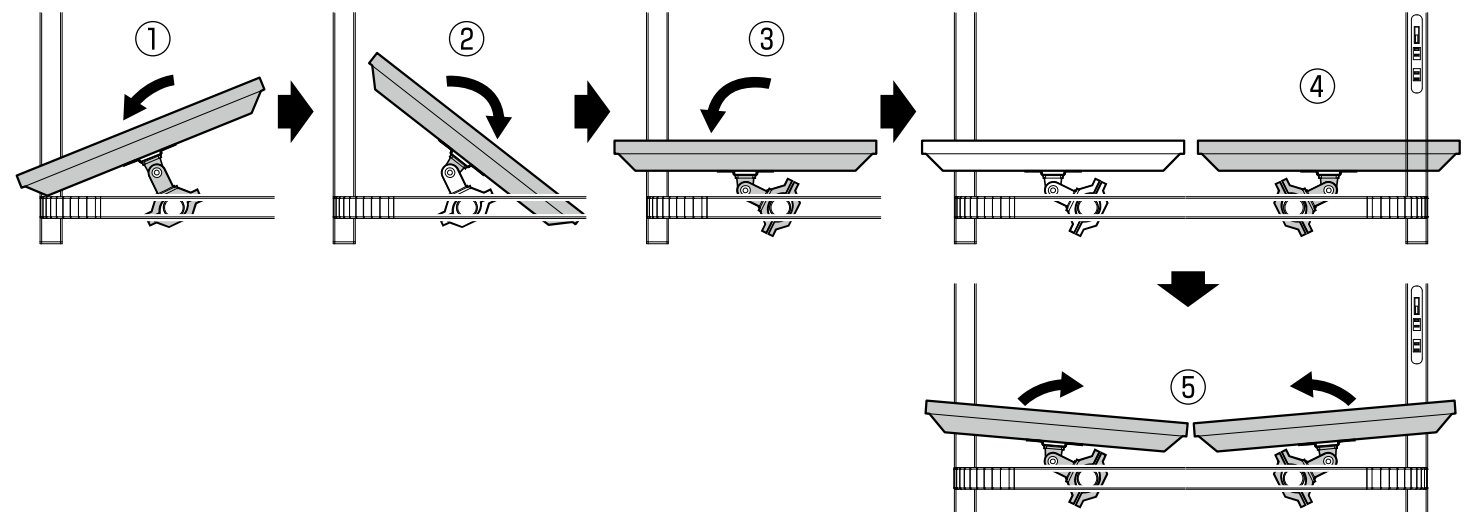
4 ディスプレイの取付

1. ディスプレイアームにお客様でご準備いただいたディスプレイを取付けます。
※ディスプレイアームはVESA規格（75×75mmまたは100×100mm）に対応したもののみ取付けが可能です。
※ディスプレイアームに取付ける際は、ディスプレイを落としたりぶつけたりしないように二人で作業してください。
※ディスプレイの位置を変更したい場合は、ディスプレイアームの説明に従って変更してください。



5 ディスプレイの取付(2画面の場合)

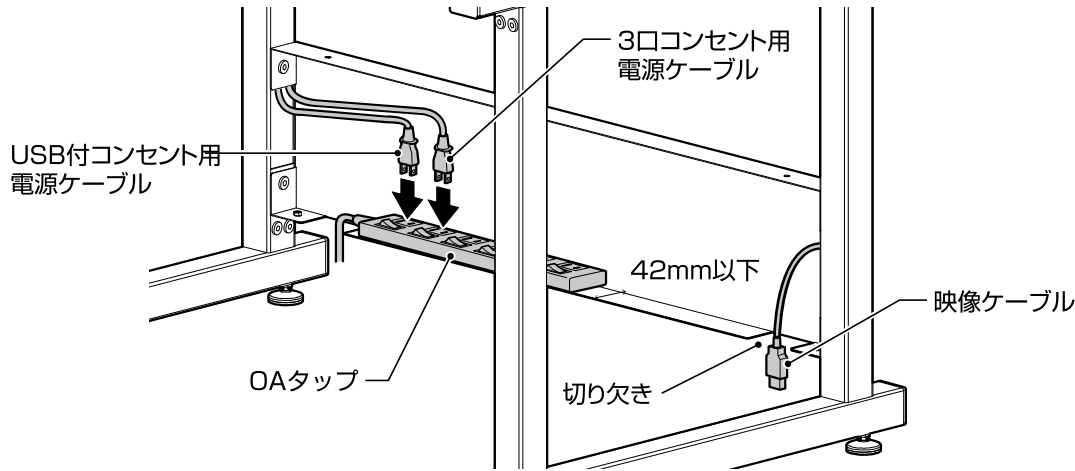
- 2画面を取付ける場合は、まず最初に1台目を取付けます。
1. 1台目のディスプレイを、フレームの外側向き少し斜めの状態でディスプレイアームに取付けます。
 2. ディスプレイアームの根元の可動部をフレーム内側に倒します。
 3. ディスプレイバーに取付けられているアーム本体部分をさらにフレーム外側に向けます。
 4. 2台目のディスプレイも同様の取付け手順にて取付けてください。
 5. ディスプレイアームを見やすい位置に調整してください。
※23.8インチ以上（幅560mm以上）のディスプレイは2台並べて取付かない場合があります。
※23.8インチの2画面は真っすぐにならずV字型での設置になります。



OAタップボックスカバーの取付

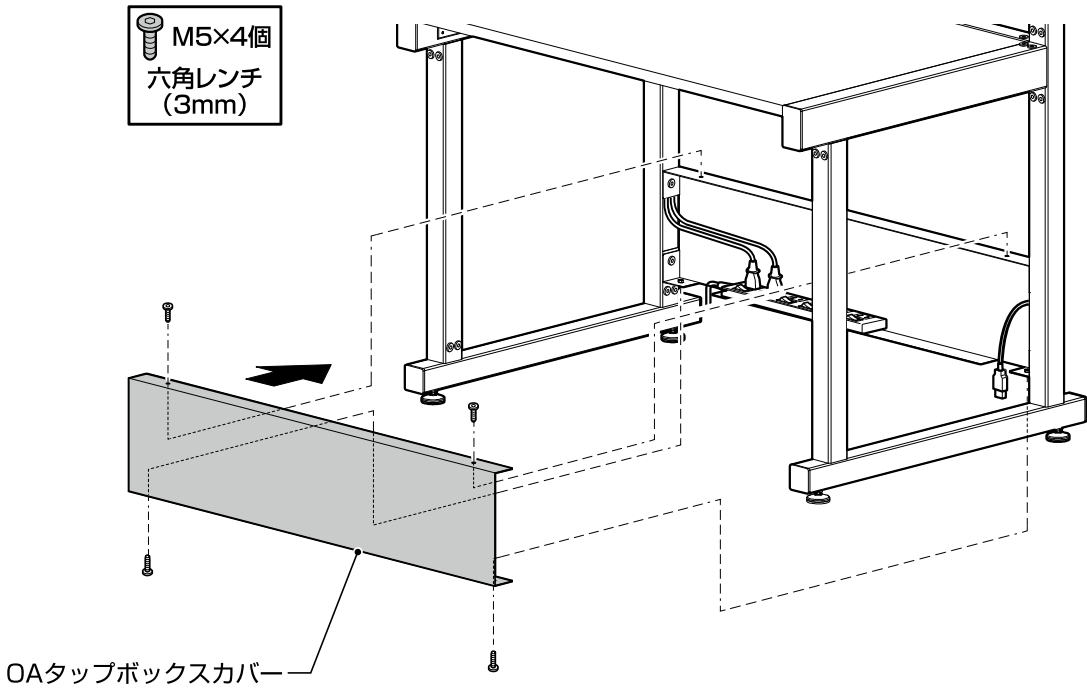
1 配線のまとめ

1. OAタップボックス本体に出していた電源ケーブルや映像ケーブルを取りまとめます。
2. OAタップボックス本体の下側の切り欠きから必要なケーブルを取り出すことができます。
3. 幅42mmのOAタップであれば、OAタップボックスの中に収納が可能です。
4. 映像ケーブルをOAタップボックスから取り出している場合は、下側の切り欠きから必要な長さを出しておきます。



2 OAタップボックスカバーの取付

1. OAタップボックスカバーを、OAタップボックス本体へ正面から取付けます。
2. 切り欠き部があるほうが、下側になるように取付けます。
※OAタップボックス本体内にあるケーブル類やOAタップが挟み込まないように注意してください。
3. OAタップボックスカバーを取付けたら、上下からM5ねじを取付け、カバーが外れないようにします。



ご使用前の確認

●設置

- ・本製品は屋内で使用し、水平な場所へ設置してください。
- ・すべてのねじをしっかりと締め付けてください。
- ・ねじがすべて取付けられていることを確認してください。
- ・がたつきがある場合は、アジャスターで調整してください。
- ・設置場所へ移動する場合は、必ず二人以上で移動させ、周辺に注意して設置してください。

●導通確認

- ・3口コンセントおよびUSB月コンセントのプラグをコンセントにしっかり挿し込んでください。
- ・AC100Vが通電できているか、USBから給電ができるかを確認してください。
- ・USBコネクタ形状は、USB-Aタイプで給電のみが可能です。
- ・3口コンセントおよびUSB付コンセントの規定ワット数を超えないようにしてください。
- ・各ケーブル類が、フレームに挟み込まないように確認してください。

●天板

- ・天板をフレームにしっかりと取付けてください。
- ・天板にがたつきがないことを確認してください。

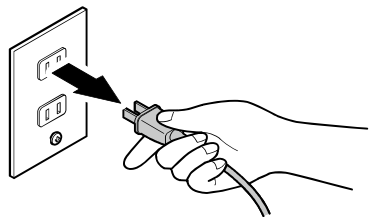
よくあるご質問

こんなとき	確認内容	対策
電源ケーブルや映像ケーブルが必要な場所まで届かない。	ケーブルがフレーム内部で折れ曲がったり、絡まったりしていませんか。	一度ケーブルを抜いて、長さを確認してください。折れ曲がったり、絡まったりしていなければ長さが足りていません。別途、延長コードや、長いケーブルをご準備ください。
デスクががたつく	フレームをつなぐねじが緩んでいませんか。	ねじが緩んでいないか確認をして、ねじが緩んでいる場合はしっかりと締め付けてください。
	アジャスターの高さは合っていますか。	じゅうたんなどの不安定な場所ではなく、水平な場所に設置してアジャスターの高さを調整してください。
ディスプレイが最適な位置に設置できない	ディスプレイアームの調整をしましたか。	ディスプレイアームの取扱説明書に従い、高さ、向き調整を行ってください。

お手入れの方法

●コンセント

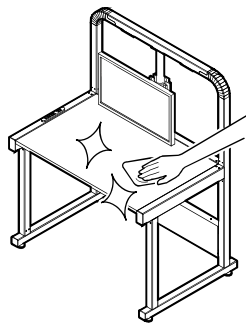
- ・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・また水洗いはしないでください。
- ・コンセントや、USB充電ポートなどに水をかけないでください。
- ・長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



●天板

- ・日常のお手入れは、きれいな柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・乾拭きでは汚れが取れないときには、水で薄めた中性洗剤をしみこませた柔らかい布で汚れを拭き取り、乾いた柔らかい布で拭きあげてください。

⊘ 表面が侵されたり変色する恐れがありますので、清掃するとき、有機溶剤、強酸、強アルカリ性洗剤を使用しないでください。



●フレーム本体

- ・清掃の際は洗剤や水分が残らないよう、必ず最後に乾いた布でふき取ってください。
- ・中性洗剤以外の漂白剤、除菌剤、溶剤などのご使用は絶対におやめください。
- ・本製品は、スチール製にさびにくい塗料を塗っていますが、使用条件や環境、経年劣化によってはさびが生じることがございます。
- ・さびの度合いにも相違が生じますのでご注意ください。
- ・ねじは定期的に点検し、緩んでいるときはしっかり締めてください（1か月に1度が目安です）

⚠ 注意

- ・本体の表面を水気の多いぞうきんなどでふかない。
- ・クレンザー、シンナー、ベンジン、アルコール、灯油などは使わない。
- ・化学ぞうきんはその注意書きに従って使用する
- ・ストーブなど、火のそばで使わない
- ・天板、フレームの上に直接熱いものを置かない。
- ・天板、フレームの表面にシールや粘着テープを貼らない。（はがす際に表面材がはがれる可能性）

仕様

3口コンセント	ケーブル長	1.5m
	定格	15A 125V 合計1200Wまで
USB付コンセント	ケーブル長	1.5m
	定格	15A 125V 合計1200Wまで
	USB定格出力	DC5V 2A
	USBコネクタ形状	Aタイプ
フレーム本体	寸法	W991mm ×D702mm ×H1268mm
	材質	スチール
	塗装	粉体塗装
	耐荷重	200N（トップフレームへの垂直荷重）
天板	寸法	900mm×600mm×20mm
	天板トップ	耐摩耗化粧合板
	耐荷重	500N（天板トップへの均等垂直荷重）

お願い

- ・製品および梱包材を廃棄する際は、お住いの自治体の取り決めに従って処分してください。
- ・天災などの不可抗力やお客様のお取り扱い上の不注意、不当な修理、改造による故障、破損に対する保証は致しかねます。
- ・フレーム、天板以外の付属品については、付属品の取扱説明書やパッケージの注意書きなどに従ってご使用ください。